

(H23 後期授業)におけるキャリア形成に関する受講生の意識

保健体育講座・牛山 眞貴子

1 はじめに

本授業は、生涯学習群スポーツ健康科学課程1年生必修の授業である。

この課程では一年次終了後指導者へのキャリアを積むスポーツ指導者養成コースと学生がこれまで培ってきたキャリアと潜在する能力を開発し、社会で活躍できる人財を育成するスポーツキャリア開発コースに、学生の進路選択によって分かれる。本授業の中でコース選択を学生が行うため、選択を支援できることが期待されている。

今回の授業報告では受講生 21 名に調査を行い、特に授業内容で取りあげている①ライフワークバランス②職種幅の広がり③将来へのキャリア形成への意欲向上を軸に、授業の取組のクオリティと学生の理解および満足度を検討する。

2 受講生の構成

スポーツ健康価額課程1年生 21人

3 授業題目、目的・到達目標

○授業題目

キャリアをデザインする-スポーツやダンスのキャリアをどう活かすか

○授業の目的

現代社会において学生は将来にむけての発展的なキャリア教育の必要性を期待している。

- 1) スポーツやダンスのキャリアをどう活かすかについて、自己記録・話題提供・事例提供を参考に考察を行う。
- 2) 職業観を広げ、スポーツ・ダンスそれぞれの特性を明確にしていきながら、自己の適性と照合し、現段階の「未来図」を推論し作成する。
- 3) 大学の学びの中で、さらにキャリアを開発し、キャリアアップしていくための今後の課題を考え、認識する。

○ディプロマ・ポリシー（卒業次の到達目標）

現代社会で生じている健康やスポーツに関するさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。（思考・判断）
多世代にわたる対人関係能力およびコミュニケーション

能力を獲得し、豊かな地域社会づくりに貢献するための適切な行動ができる。（態度）

○到達目標

①知識・思考

自己のスポーツやダンスのキャリアを小学校から今日まで列記し、系統立てて述べるができる。これまでのスポーツ/ダンスの種目特性と照合しながら、キャリアを自己分析することができる。

②技能・表現

話題提供者・事例提供者の話に耳を傾け、質問項目を作成し、尋ねることができる。

キャリア開発やキャリアアップのためにこれから自分が何をしなければならないかを整理し、述べる・書くことができる。

③意欲・関心

グループワーク・ディスカッションの中で、自己の役割を踏まえて、話し合いに対応することができる。グループワーク・ディスカッションの中で、構成員と協力し合い、課題を遂行し、まとめることに貢献できる。

ディプロマ・ポリシーと到達目標は、D-1と知識・思考が対応し、D-2と技能・表現、意欲・関心が対応しており、リンクしている。

4 授業内容

概要

- 1) ガイダンス 就職に関する日本の現状、キャリアデザインの必要性「10年後の私」
- 2) スポーツで培われる能力、ダンスで培われる能力を知る
- 3) スポーツをビジネスにする（講師を招き話題提供）→ディスカッション
- 4) ダンスをビジネスにする（講師を招き話題提供）→ディスカッション
- 5) スポーツ以外の仕事に就く（講師を招き話題提供）→ディスカッション
- 6) ダンス以外の仕事に就く（講師を招き話題提供）→ディスカッション

- 7) より専門性を磨く, 研究職への道①(大学院生、大学教員による事例提供) →ディスカッション
- 8) より専門性を磨く, 研究職への道②(大学院生、大学教員による事例提供) →ディスカッション
- 9) 私のスポーツキャリア、ダンスキャリアからの様々な未来図→そのためには今何をすればいいか
- 10) 自分を伝える①(筆記)
書く、まとめる、筆記テスト、グループワーク
- 11) 自分を伝える②(筆記)
書く、まとめる、筆記テスト、グループワーク、
- 12) 自分を伝える③(話す、聞く)
対話、グループワーク、ディスカッション
- 13) 自分を伝える④(話す/聞く)
スピーチ、グループワーク、ディスカッション
- 14) 自分の未来図となるキャリアデザインを作成する。基本的なマナーとスキルを身につける。
- 15) まとめ、評価

5 授業アンケートからの授業評価

15回目のまとめの授業で希望するコースを用紙に記入後、受講生にアンケートを行った。全員出席で回答数 21 名、回収率 100%

A 質問項目と回答数

次の質問に回答ください。該当するものに○をつけてください。

- 1) 希望するコースと進路について
(5名) まだ、コースに迷いがある。
(16名) 迷いなくコースを決めることができた。
(10名) コースの迷いはないが、進路は未定
(11名) コースの迷いはなく、進路も大体決まった。
- 2) 1年後期スポーツ・ダンスキャリアデザイン論の最終授業後にコース説明後、コース分けについて
(21名) これでいいと思う
(0) 1年前期の方が良い→もっと早く決めたい
(0) コース説明は必要ない
- 3) スポーツ・ダンスキャリアデザイン論の授業で
①ライフワークバランス ②職種の幅の広がり ③将来のために何をすべきか ①から③について自分の中で意識できるようになりましたか。
充分意識できるようになった◎
概ね意識できるようになった○
まだ意識できていない△ を記入してください。

ライフ→◎12名○9名△0

職種→◎10名○10名△1名

将来→◎8名○9名△4名

* その他、コース選択に限らず学生生活や進路について、不安に感じていることや質問などあったら遠慮なく書いてください。

- ・「スポーツ文化論」をコース分けしてから開講してほしい(3名)
- ・就職難で不安です(1名)
- ・就活、将来等迷いと悩みがあり(4名)
- ・その他(1名)

各項目の回答からの結果

以上の結果より、受講生について

- ① コース選択にまだ迷いのある学生はいるが、時的には最良と判断している。
- ② 進路については、これからの課題として捉えている。
- ③ 授業によって、働くこと、生活することの意識が「バランス」で捉えられるようになったこと
- ④ 職種や将来についてまでは、まだクリアなイメージを持つまでには至っていない。

以上のことが示唆された。

今後も継続して指導を行い、キャリア形成について意識化し、将来をデザインすることをアドバイスしていく必要があるだろう。

<まとめ>

学生のアンケート評価と感想から授業内容に対して積極的に関わろうとする姿勢、キャリア形成への気づきから意識の高まり、行動への意識付けが現れていた。進路にまだ迷いや不安はあるが終了することができた。ディプロマ・ポリシーと到達目標はD-1と知識・思考が対応し、D-2と技能・表現、意欲・関心が対応しており、ほぼリンクし合っていたことが伺えた。